三重塗料『アースコート防錆―塗装システム』が再腐食を防止

錆転換の特長　2種、3種ケレン程度で十分
塩害に強く、コスト減も利点

―従来の塗装システムとの違いとして挙げる事は。

湊　従来の重防食機能を期待する塗装では、1種ケレンが必要だとされていますが、アースコートは2種ケレン、3種ケレン程度で済みます。

プラストをしないことで工期短縮につながり、産廃費用や、仮設足場費生にかかる費用そのほかについても、抑えることが出来て、コスト縮減につながります。

今はプラストを行う際に、粉塵を抑え、人体や周辺環境への影響を軽減するようになっていますが、それだけに大掛かりな装備や装置が必要となります。やはり、プラストを必要としない事は大きなメリットだと考えています。

―ほかには。

湊　塩害地域での高い防食能も特長です。

例えば沖縄県ですが、塩害に加え、紫外線の厳しいところです。

また初期の頃、200μ（マイクロメートル）であれば、その危険性は少ないと。

湊　そうです。それに老朽化した橋が放置させる事ないことにもつながっています。

プラストなしで、Rc―Ⅰ塗装系と同様の防食性が、アースコートとRc―Ⅰ塗装系の塩水噴霧試験の比較評価試験資料を作成しておりRc―Ⅰ塗装系と同様の防食性を実現する『アースコート』であれば、プラストが結果だったと示しています。

また、何より我々が全国の道路管理者を回る中で、独自に実験を調査して、先ほどの沖縄の実例を含め、不具合の事例が多くの工事に参入できる機会を得られると思います。

―「Rc―Ⅰ塗装系と同様の防食性」実現

比較試験と、実績が証明

―そこで『アースコート』は、特に補修工事において、アースコートは2012年にNETIS登録して年ごとに、入札の不調不落が問題化しています。それが、その際、公的機関の日本塗料検査協会が、アースコートとRc―Ⅰ塗装系の価試験資料を作成しておりRc―Ⅰ塗装系と同様の防食性を実現する『アースコート』であれば、プラストなしで、Rc―Ⅰ塗装系と同様の防食性を結果だったと示しています。

また、何より我々が全国の道路管理者を回る中で、独自に実験を調査して、先ほどの沖縄の実例を含め、不具合の事例が多くの工事に参入できる機会を得られると思います。

―「Rc―Ⅰ塗装系と同様の防食性」実現

比較試験と、実績が証明

―そこで『アースコート』は、特に補修工事において、アースコートは2012年にNETIS登録して年ごとに、入札の不調不落が問題化しています。それが、その際、公的機関の日本塗料検査協会が、アースコートとRc―Ⅰ塗装系の価試験資料を作成しておりRc―Ⅰ塗装系と同様の防食性を実現する『アースコート』であれば、プラストなしで、Rc―Ⅰ塗装系と同様の防食性が、アースコートとRc―Ⅰ塗装系の塩水噴霧試験の比較評